

商品名 セレコキシブ錠200mg「トーフ」 医薬品基本情報

薬効	1149 その他の解熱鎮痛消炎剤	一般名	セレコキシブ錠
英名	Celecoxib TOWA	剤型	錠
薬価	13.80	規格	200mg 1錠
メーカー	東和薬品	毒劇区分	(劇)

セレコキシブ錠200mg「トーフ」の効能・効果

(肩関節周囲炎、腱炎、腱鞘炎、変形性関節症、腰痛症、関節リウマチ、頸肩腕症候群)の(消炎、鎮痛)、(外傷後、手術後、抜歯後)の(消炎、鎮痛)

セレコキシブ錠200mg「トーフ」の使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、アスピリン喘息又はその既往、非ステロイド性消炎・鎮痛剤等による喘息発作又はその既往、消化性潰瘍、重篤な肝障害、重篤な腎障害、重篤な心機能不全、冠動脈バイパス再建術の周術期	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 非ステロイド性消炎・鎮痛剤の長期投与による消化性潰瘍、肝障害<重篤な肝障害を除く>又はその既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 消化管障害発生のリスクファクターの高い、心血管系疾患<冠動脈バイパス再建術の周術期を除く>又はその既往、心機能障害<重篤な心機能不全を除く>、高血圧症、消化性潰瘍の既往、気管支喘息<アスピリン喘息又はその既往歴を除く>、腎障害<重篤な腎障害を除く>又はその既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

セレコキシブ錠200mg「トーフ」の副作用等

1. 心筋梗塞、脳卒中、重篤で場合によっては致命的な心血管系血栓塞栓性事象	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明

2. ショック、アナフィラキシー、呼吸困難、血管浮腫、血管炎、気管支痙攣、重篤な過敏症、消化管穿孔、吐血、下血、メレナ、心筋梗塞、脳卒中、重篤で場合によっては致命的な心血管系血栓塞栓性事象、心不全、うっ血性心不全、肝不全、肝炎、黄疸、再生不良性貧血、汎血球減少症、無顆粒球症、白血球減少症、血小板減少症、急性腎障害、間質性腎炎、重篤な腎障害、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症、剥脱性皮膚炎、重篤で場合によっては致命的な皮膚症状、発疹、粘膜障害、過敏症に関連する徴候

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

3. 咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音異常、捻髪音、間質性肺炎

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

4. 消化性潰瘍

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

5. 消化管出血、肝機能障害、AST上昇、ALT上昇、ビリルビン上昇

記載場所	重大な副作用
頻度	0.1%未満

6. β 2-マイクログロブリン増加

記載場所	その他の副作用
------	---------

7. インフルエンザ様疾患、不眠症、睡眠障害、錯乱状態、不安、幻覚、筋緊張亢進、無嗅覚、血中カリウム増加、血中ナトリウム増加、歯の脱落、口腔内潰瘍、嚥下障害、胃食道逆流性疾患、膵炎、憩室、過敏性腸症候群、痔出血、排便回数増加、腎結石症、良性前立腺肥大症、前立腺炎、PSA増加、血中クレアチニン増加、不整脈、頻脈、洞性徐脈、狭心症、不安定狭心症、大動脈弁閉鎖不全症、冠動脈硬化症、心室肥大、深部静脈血栓症、血腫、気管支炎、咳嗽、鼻炎、副鼻腔炎、呼吸困難、発声障害、斑状出血、光線過敏性反応、脱毛症、水疱性皮膚炎、硝子体浮遊物、結膜出血、聴力低下、貧血、ヘマトクリット減少、ヘモグロビン増加、真菌感染、細菌感染、ヘリコバクター感染、尿路感染、上気道感染、耳感染、带状疱疹、丹毒、創傷感染、歯肉感染、迷路炎、アレルギー増悪、無菌性髄膜炎、筋痙攣、脂肪腫、ガングリオン、膣出血、乳房圧痛、卵巣嚢胞、閉経期症状、血中テストステロン減少、上顎炎、腱断裂、骨折、損傷

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

8. 倦怠感、口渇、末梢性浮腫、傾眠、頭痛、浮動性めまい、味覚異常、ALT増加、AST増加、 γ -GTP増加、ALP増加、血中ビリルビン増加、尿ウロビリノーゲン陽性、BUN増加、CK増加、食欲不振、LDH増加、尿糖陽性、腹痛、口内炎、下痢、便潜血陽性、悪心、鼓腸、消化不良、便秘、胃炎、口内乾燥、舌障害、嘔吐、口角びらん、腹部膨満、上腹部痛、胃不快感、NAG増加、尿潜血陽性、尿蛋白陽性、高血圧、潮紅、動悸、発疹、皮膚そう痒症、顔面浮腫、紅斑性皮疹、湿疹、蕁麻疹、薬疹、耳鳴、回転性めまい

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

9. 悪寒、全身浮腫、疲労、ほてり、体重増加、酩酊感、体位性めまい、感覚鈍麻、意識レベル低下、糖尿病、胃腸障害、舌炎、口腔内痛、食道炎、口の感覚鈍麻、アフタ性口内炎、口腔粘膜水疱、心窩部不快感、胃腸炎、多尿、尿閉、頻尿、腎機能障害、高血圧増悪、循環虚脱、咽頭炎、鼻出血、鼻咽頭炎、点状出血、斑状丘疹状皮疹、皮膚乾燥、頭部皰癬疹、多汗、皮膚炎、紅斑、耳痛、霧視、眼そう痒症、背部痛、筋硬直、関節痛、四肢痛、不正子宮出血、月経障害、ウイルス感染、細菌性腸炎、頸部痛

記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満

10.	肝不全、肝炎、AST上昇、ALT上昇、ビリルビン上昇、黄疸	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
11.	急性腎障害、間質性腎炎、重篤な腎障害	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
12.	心筋梗塞、脳卒中、重篤で場合によっては致命的な心血管系血栓塞栓性事象、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、重篤で場合によっては致命的な皮膚症状、感染症を不顕性化、胎仔動脈管収縮、腎機能障害、尿量減少、羊水過少症、胎児動脈管収縮、染色体の数的異常、核内倍加細胞増加、着床後死亡数増加、死産増加、横隔膜ヘルニア、胎仔体重減少、排卵障害、一時的不妊	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

セレコキシブ錠200mg「トーフ」の相互作用

1.	薬剤名等：消炎・鎮痛剤	発現事象	-	投与条件	-
		理由・原因	-	指示	希望禁止
2.	薬剤名等：ACE阻害剤	発現事象	降圧効果を減弱	投与条件	-
		理由・原因	他のNSAIDでは、腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害による	指示	注意
3.	薬剤名等：アンジオテンシン2受容体拮抗剤	発現事象	降圧効果を減弱	投与条件	-
		理由・原因	他のNSAIDでは、腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害による	指示	注意
4.	薬剤名等：フロセミド	発現事象	他のNSAIDがフロセミド及びチアジド系利尿剤のナトリウム排泄作用を低下	投与条件	-
		理由・原因	他のNSAIDでは、腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害による	指示	注意
5.	薬剤名等：チアジド系利尿剤	発現事象	他のNSAIDがフロセミド及びチアジド系利尿剤のナトリウム排泄作用を低下	投与条件	-
		理由・原因	他のNSAIDでは、腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害による	指示	注意

6. 薬剤名等：アスピリン

発現事象	消化性潰瘍・消化管出血等の発生率が高くなる	投与条件	低用量アスピリン (1日325mg以下)
理由・原因	アスピリンの併用によりNSAIDの消化性潰瘍・消化管出血等を助長	指示	注意

7. 薬剤名等：抗血小板薬

発現事象	消化管出血の発生率が高くなる	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤は血小板凝集抑制作用を有するため、NSAIDの消化管出血を助長	指示	注意

8. 薬剤名等：リチウム

発現事象	血漿中濃度が上昇しリチウムの作用が増強	投与条件	-
理由・原因	腎排泄を阻害	指示	注意

9. 薬剤名等：フルコナゾール

発現事象	本剤の血漿中濃度が上昇し本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	CYP2C9による本剤の代謝を阻害	指示	注意

10. 薬剤名等：フルバスタチン

発現事象	本剤・フルバスタチンの血漿中濃度が上昇し本剤・フルバスタチンの作用が増強	投与条件	-
理由・原因	CYP2C9による本剤の代謝を阻害、本剤と同じCYP2C9で代謝	指示	注意

11. 薬剤名等：クマリン系抗凝血剤

発現事象	重篤で場合によっては致命的な出血、プロトロンビン時間が延長	投与条件	-
理由・原因	CYP2C9を介する代謝の競合阻害	指示	注意

12. 薬剤名等：パロキセチン

発現事象	作用が増強、本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤の血漿中濃度が低下し、パロキセチンの血漿中濃度が上昇、CYP2D6の阻害作用	指示	注意

13. 薬剤名等：デキストロメトर्फェン

発現事象	血漿中濃度が上昇しデキストロメトर्फェンの作用が増強	投与条件	-
理由・原因	CYP2D6の阻害作用	指示	注意

14. 薬剤名等：制酸剤

発現事象 本剤の血漿中濃度が低下し本剤の作用が減弱

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.